

幸せな人生を送るための資産運用 ～アドバイザーをつけるという新しい選択肢～

「共に成長する ～Growing with You～」

私たちは、お客様の幸せに貢献する100年プライベートウェルスアドバイザーです

 Aoyama
Financial
Service 株式会社 青山フィナンシャルサービス
Aoyama Financial Service Company, Limited

金融商品仲介業者 関東財務局長(金仲)第939号

Q

お金の心配が要らないとして、
どのような人生を送りたいと考えますか？



理 想 の人生をデザインしよう

DESIGN YOUR IDEAL LIFE

※「The Three Questions presented by George Kinder」より青山フィナンシャルサービスが作成

1

運用に失敗した事例と共通の課題

2

幸せな人生を送るための運用に必要なこと



Section 1

運用に失敗した事例と共通の課題

お客様が取り組んだ運用

個別株式の売買

証券会社のセミナーで情報収集
短期売買を繰り返す

仕組債

- 相続税納税資金 1 億円で購入
- 参照銘柄の上昇で早期償還
- 償還の都度、新たな債券を購入
- 配偶者も同様の債券を購入

起こった問題

小さな利益確定、損失は確定が難しく
トータル収支はむしろマイナス

頻繁な株価チェック や証券会社の担当者
と **連絡を取り合うストレス**

参照銘柄の大幅下落により、
8 割減価した株式で償還された。
その結果、**納税資金確保が困難** に

自身と同じ運用をしていた配偶者でも
同様の損失が生じ、
ご夫婦の関係性が悪化 した

お客様が取り組んだ運用

テーマ型投信

コロナ禍でDX関連銘柄が好調と聞き、
関連セクターに特化したファンドを購入

抱き合わせ定期預金

投信購入金額の範囲内で3ヶ月3.0%の
特別金利定期預金を預け入れ

起こった問題

購入後すぐに基準価額が2割下落
その後も**大きな価格変動が続いた**

証券会社の担当者が
異動すると同時に**解約**

定期預金利息<投信購入手数料となり
収支が大幅マイナスに

定期	投信
1000万円	1000万円
年率3%×3か月	購入手数料3%※
税引後受取額	支払額（税込）
5.9万円 ↘	33万円 ↗

※購入時手数料3%は仮定の数値です。

お客様が取り組んだ運用

ファンドラップ

余剰資金の安定運用のために、保守的な資産配分でプロに運用をお任せした

欧州系金融機関の偶発転換社債

金利が高く魅力的だったため、利金を旅行代金の足しにするつもりで購入

起こった問題

年数が経過しても資産が増えない

資産配分を積極型に変更

相場によって増えることもあるが
望むような安定運用ができていない

発行体が政府主導で他社に買収

トリガー条項に抵触

元本が無価値になり
旅行どころではなくなった

Point

- **誤った判断が大きな損失に繋がる**ことがある
- それが**幸せな人生を送る妨げ**になる可能性がある



失敗事例

個別株式

仕組債

テーマ型投信

抱き合わせ定期預金

ファンドラップ

欧州系金融機関の偶発転換社債



共通の課題

✓ 予測に基づく投資

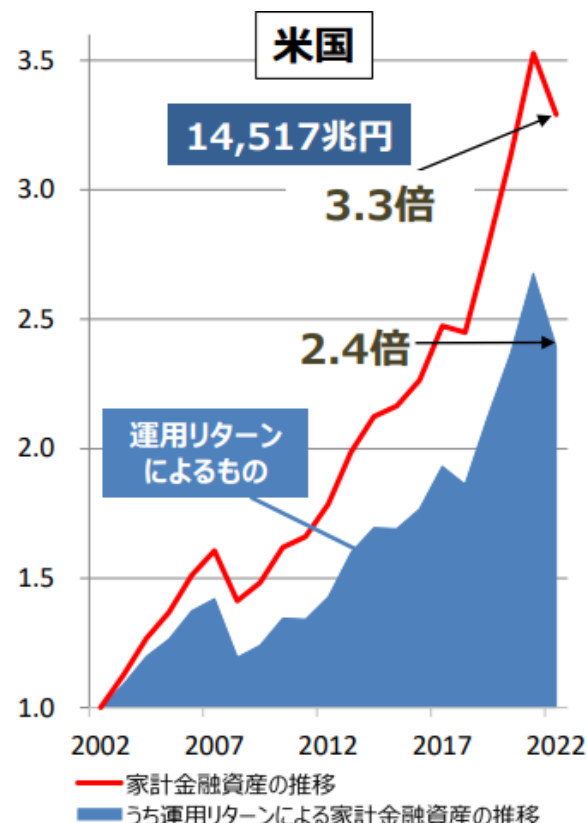
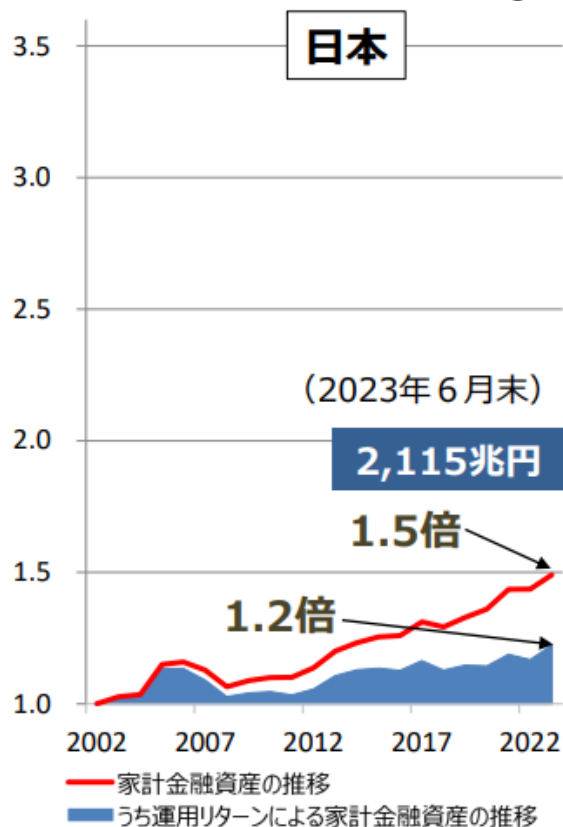
✓ 短期目線

✓ “希望的”戦略

✓ 気苦労が絶えない

Point 成功モデルである米国では日本の約**2.2倍**も家計金融資産を増やしている。

家計金融資産



(出所) FRB、BOE、日本銀行の統計資料より金融庁作成

(注) 上記の運用リターンによる資産の伸びは、資産価格の変動による伸びから算出してあり、利子や配当の受取りを含まない。

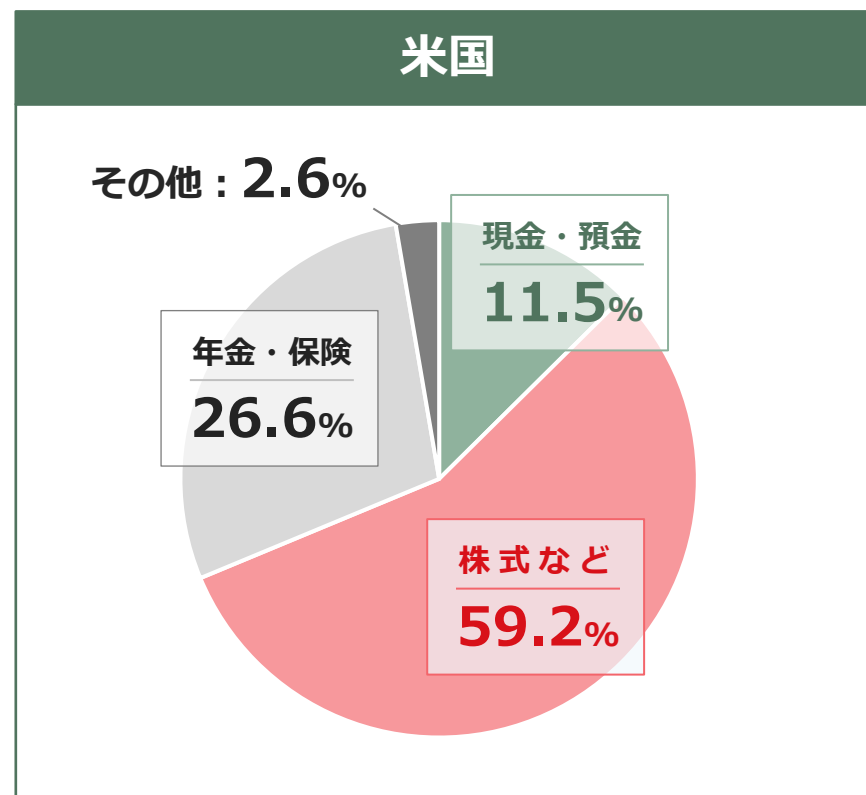
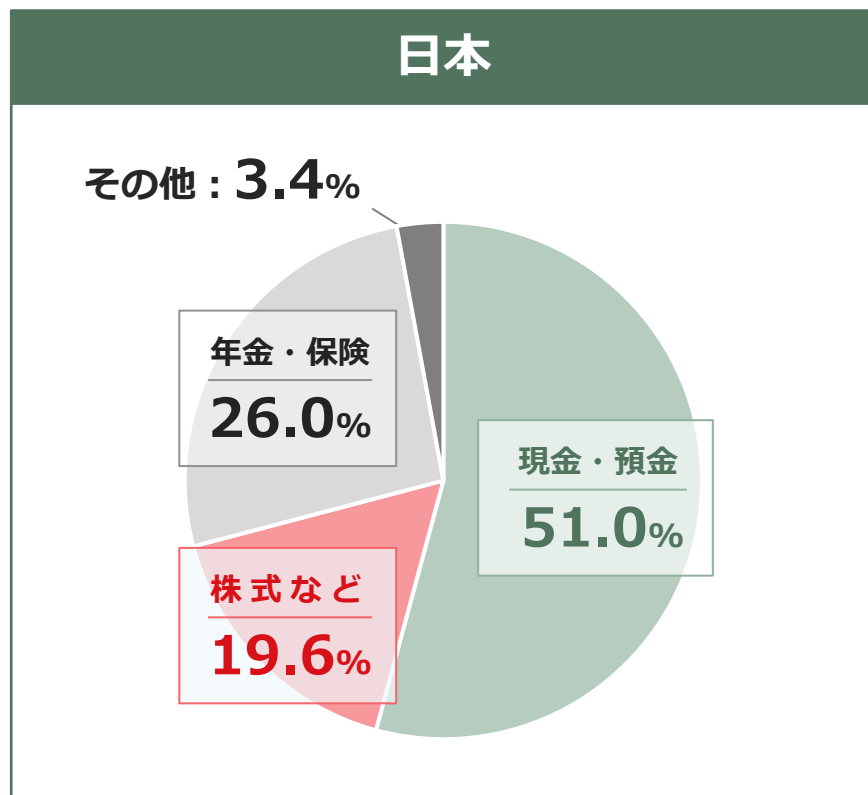
(注) 22年末時点の値。米国、英国については、22年12月末の為替レートにて換算(1ドル=131.12円、1ポンド=158.47円)

内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 令和5年10月4日「資産運用立国に関する基礎資料」

(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/bunkakai/sisanunyou_dai1/siryou2.pdf) より青山フィナンシャルサービスが作成

家計金融資産の構成比較

※いずれも2025年3月末時点



日本は米国と比較すると現金の保有率が高いのが現状
▶ **インフレリスクへの対応が不十分**

(出所) 日本銀行「資金循環統計」2025年6月27日公表分、FRB「financial Accounts of the United States.First Quarter 2025年6月12日公表分
※日本銀行調査統計局 2025年8月29日「資金循環の日米欧比較」より青山フィナンシャルサービスが作成



Section 2

幸せな人生を送るための運用に必要なこと



資産運用の「**真の成功体験**」を通じてお客様の幸せに貢献したい

Point | アドバイザーから自分に合った戦略を学ぶこと

— 🔍 共通の課題（従来のやり方） —

マーケットに高い授業料を払う

△ 予測に基づく投資

△ 短期目線

△ “希望的”戦略

△ 気苦労が絶えない



理想のやり方

アドバイザーから学ぶ

✓ ライフプランに基づく投資

✓ 長期目線

✓ “グローバル分散”戦略

✓ 平穏・落ち着きを創出



既成概念

△ 個別銘柄一本釣り

△ 優秀なファンドマネジャーを見つける

△ タイミングを図る

△ メディアを参考にする



本当に大切なこと

✓ エビデンス evidence

✓ 活用 implementation

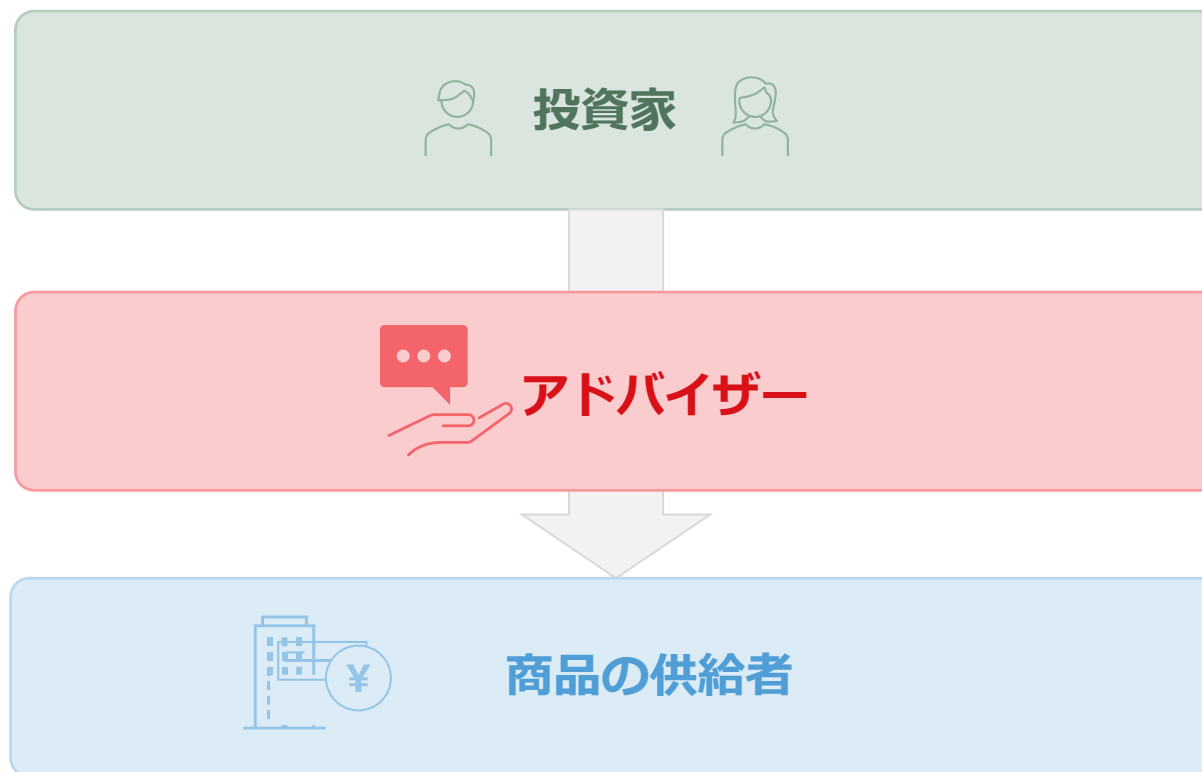
✓ 分散 diversification

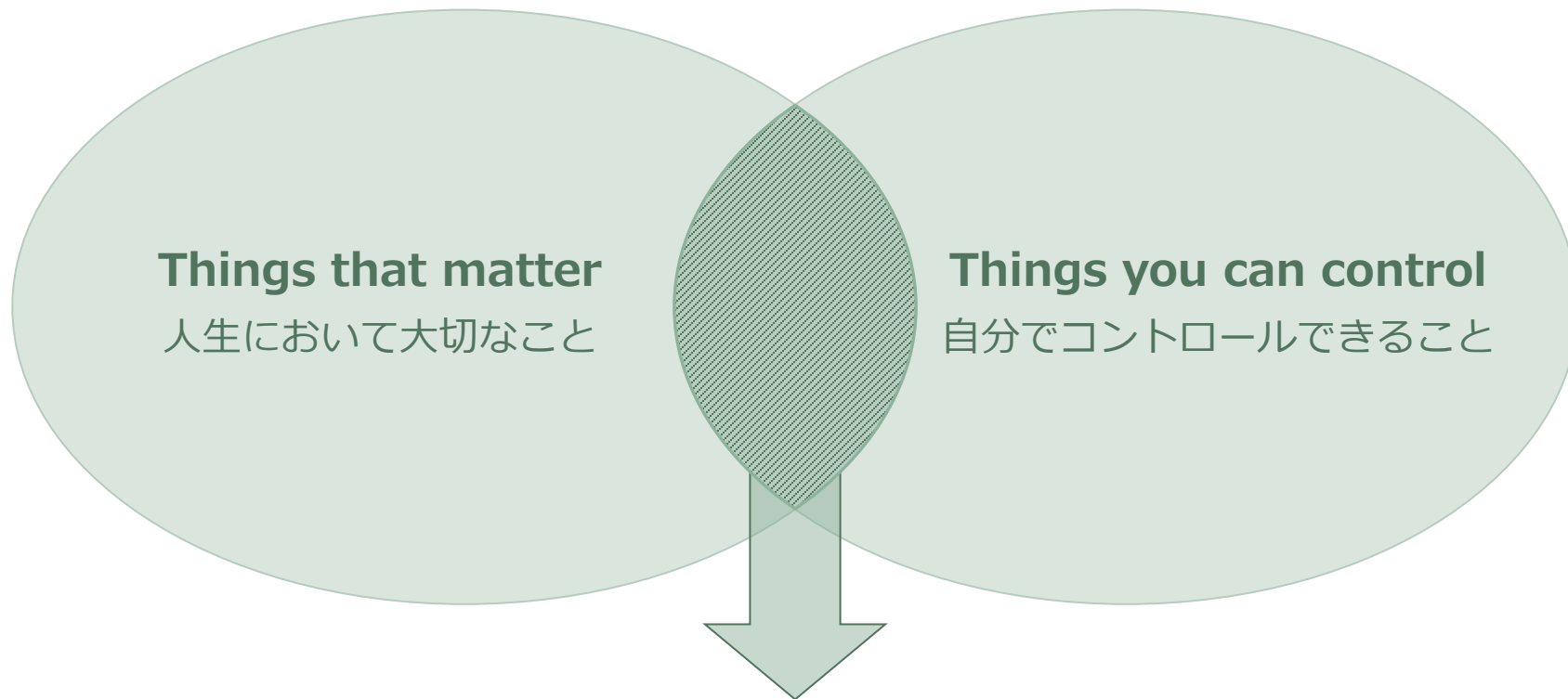
✓ 規律 discipline

- これらが**成功し続けるエビデンス（裏付け）**はない
- しかし、**成功するためにこのようなことをする必要はない**

これらが**成功するエビデンス（裏付け）**はたくさんある

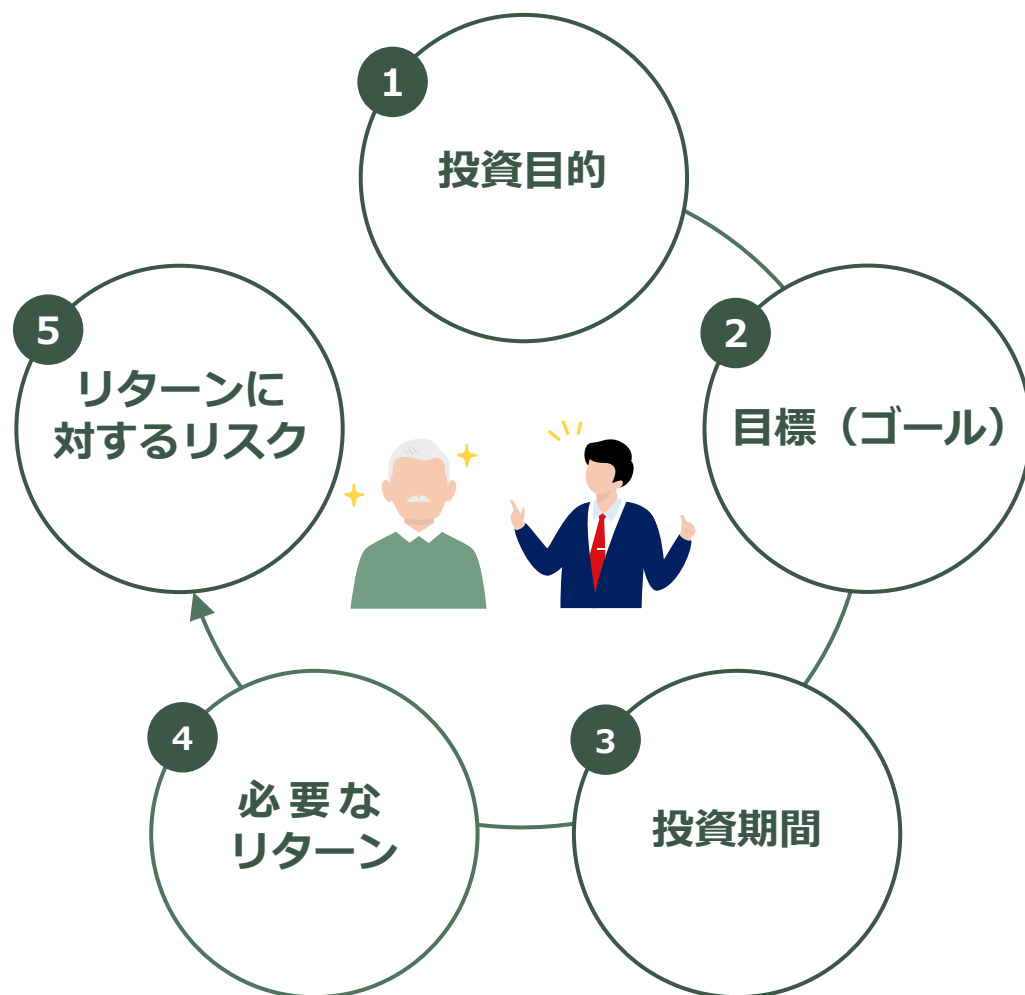
——— 投資家主体のモデル ———





What you should focus on

人生において大切なことのうち
自分でコントロールできることに注力する



それぞれの項目についての
設定と検証



最適な資産配分の構築

✓ **ライフプランに基づき、長期目線の運用プランを作る**こと

✓ メディアに惑わされず、**規律を守った投資行動を取る**こと

✓ これらを**信頼できるアドバイザーと共に**行うこと

ライフプランニング

人生において達成したい目標等をヒアリングし、ライフイベントの実現可能性の診断や適切な資産配分のご提案を行います。

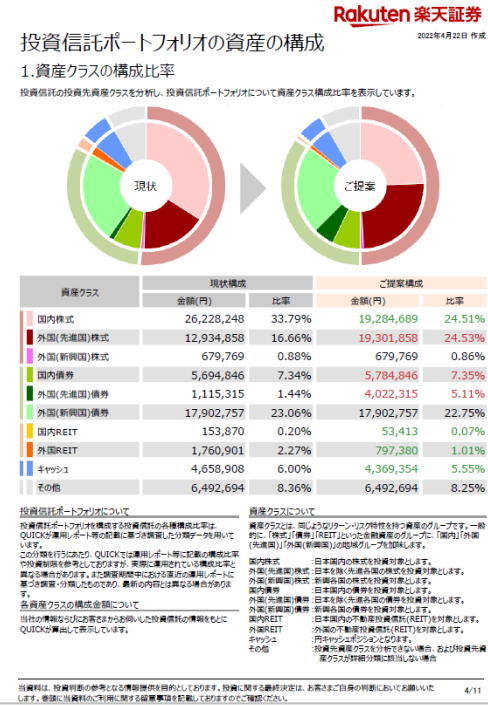
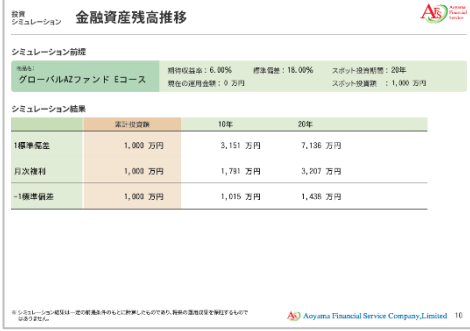
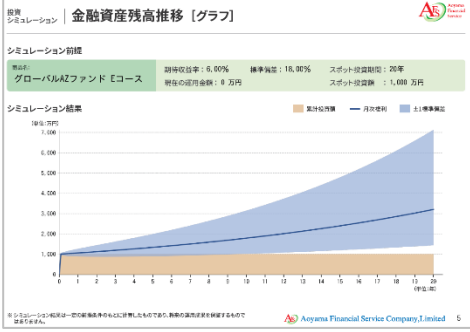
投資シミュレーション

目標達成のための投資可能期間、投資可能金額でシミュレーションを行います。一括、積立いずれもシミュレーションが可能です。

現状分析、見直し提案

保有している金融商品（株式、投資信託等）の資産構成、リスク・リターン等の分析を行い、適切なポートフォリオをご提案します。

※資料イメージ



商号等：株式会社青山フィナンシャルサービス 金融商品仲介業者 登録番号：関東財務局長（金仲）第939号
当社は所属金融商品取引業者等の代理権を有しておりません。当社は、いかなる名目によるかを問わず、その行う金融商品仲介業に関して、お客様から金銭若しくは有価証券の預託を受けることはありません。
所属金融商品取引業者等が二以上ある場合、お客様が行おうとする取引につき、お客様が支払う金額または手数料等が所属金融商品取引業者等により異なる場合は、商品や取引をご案内する際にお知らせいたします。
所属金融商品取引業者等が二以上ある場合は、お客様の取引の相手方となる所属金融商品取引業者等の商号または名称を商品や取引をご案内する際にお知らせいたします。

〔所属金融商品取引業者等〕

楽天証券株式会社：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【手数料等について】

商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（例えば、国内の金融商品取引所に上場する株式（売買単位未満株式を除く。）の場合は約定代金に対して所属金融商品取引業者等ごとに異なる割合の売買委託手数料、投資信託の場合は所属金融商品取引業者等および銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費等）をご負担いただく場合があります（手数料等の具体的上限額および計算方法の概要は所属金融商品取引業者等ごとに異なるため本書面では表示することができません。）。債券を募集、売出し等又は相対取引により購入する場合は、購入対価のみお支払いいただきます（購入対価に別途、経過利息をお支払いいただく場合があります。）。また、外貨建ての商品の場合、円貨と外貨を交換、または異なる外貨間での交換をする際には外国為替市場の動向に応じて所属金融商品取引業者等ごとに決定した為替レートによるものとします。

【リスクについて】

各商品等には株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況（財務・経営状況含む。）の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）、または元本を超過する損失を生ずるおそれ（元本超過損リスク）があります。
なお、信用取引またはデリバティブ取引等（以下「デリバティブ取引等」といいます。）を行う場合は、デリバティブ取引等の額が当該デリバティブ取引等についてお客様の差入れた委託保証金または証拠金の額（以下「委託保証金等の額」といいます。）を上回る場合があると共に、対象となる有価証券の価格または指標等の変動により損失の額がお客様の差入れた委託保証金等の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。

上記の手数料等およびリスク等は、お客様が金融商品取引契約を結ぶ所属金融商品取引業者等の取扱商品毎に異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料等をよくお読みください。

